

休止中の土浦駅前北地区市街地再開発事業の現在の考え方や今後の進め方について



竹内 裕 議員

質問 休止中の土浦駅前北地区市街地再開発事業について、本年度調査を実施するということがあるが、具体的な調査の内容と、その調査の結果、施設棟だけでも早期に着工するとなった場合、それ以降のスケジュールについて伺う。

副市長 調査の内容については、施設棟の事業成立の再検討ということで、工事費の再積算、あるいは事業資金面での事業成立性の把握、施設棟保留床の処分性の検討、マンション市況の調査、さらには費用便益分析等について調査を行う予定である。また、調査結果が出た後のスケジュールについては、平成二十二年度の当初に再評価委員会を設けて検討していただくことになる。仮に施設棟のみとの調査結果が出た場合には、平成二十二年度に都市計画決定の

変更手続き作業を行い、さらに権利変換計画の作成作業を行うことになる。平成二十三年度には用地補償関係、二十三年度、二十四年度で本体工事、保留床の処分を行い、二十五年度に清算と、現在そういった予定で考えている。

(掲載以外の質問事項)

二 文化財保護行政の現況と今後の進め方は
三 「平和」行政の今後の進め方は



土浦駅前北地区

新川にうるおいのある水辺環境を保全するために、市民協働で取り組むことが重要であるが、行政として取り組むこと、行政としての役割は何か



井坂正典 議員

質問 NPO新川水辺交流会の皆さんを始め、地域住民、

市職員とともに新川の草刈り、ごみ拾い、ヘドロ除去等清掃活動を行っており、日増しに水質の浄化、あるいは周辺の環境が良くなってきている。このように、新川に潤いのある水辺環境を保全するためには、市民協働で取り組むことが重要であるが、行政の役割と責任について伺う。

市民生活課長

新川は他市町村にまたがらず、起点、終点を土浦市内に置く、まさしく土浦市民の川であり、桜の名所ともなっている。しかし、上流に常名下水路、虫掛排水路を持ち、生活排水等が流入するため、水質汚濁やアオコ発生の問題も抱えている。その水辺環境を守っていくためには、環境保全活動を行っている市民団体を始め、新川に関わる町内会、地区市民委員会等の市民組織、事業者、行政等、地域の方々と連携しての取り組みを検討していくとともに、清掃活動等のPR活動も考えている。また、新川の管理は県が所管していることから、現状や地域からの要望等を踏まえ、浮遊ごみの回収や浚渫など、新川の改善に向け、県に対する申し入れを行って

まいりたい。

建設部長 下水道事業に関連する具体的な取り組みとしては、水洗浄化率の向上を図るべく、下水道未利用家庭への水洗化普及促進に努めているところである。水洗化促進対策として、職員による定期的な戸別訪問の実施、市の下水道展、さらには広報紙、ホームページを通しての水洗化のPR、水洗便所改造資金融資制度の紹介等の広報活動を行い、積極的な普及促進に努めてまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

二 本市の企画展等イベントについて

三 土浦市のイメージソング「風の贈り物」について



新川 (立田橋からの眺め)

行財政改革について市立幼稚園、保育所の民営化は考えられるか



柳澤 明 議員

質問 平成二十年度行財政改革実施計画取り組み一覧表によると、幼稚園は統廃合の検討、保育所は業務管理を民間に委託しているとあり、第三次行財政改革大綱では、民間活力の導入として民間委託等の推進、指定管理者制度の活用を挙げているが、公立の幼稚園、保育所の民間委託の考えについて伺う。

保健福祉課長

本市の公立保育所については、総じて施設の老朽化が進み、平成三年度建築の都和保育所、天川保育所を除き、築後約三十年が経過していることから、今後早急に耐震工事、各種メンテナンス工事等の事業を進める必要がある。また、ここ二年間、年間を通して定員を確保できない公立保育所二カ所があることなどから、今後は施設の更新等の問題が大きな課題になると認識しており、このような